

農山漁村地域整備計画 事後評価調書

計画の名称	『「がんばろう！宮崎」食と地域の基盤づくり計画（第3期）』					
計画策定主体	宮崎県					
対象市町村	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、えびの市、西都市、三股町、高原町、国富町、綾町、新富町、川南町、高鍋町、西米良村、木城町、都農町、門川町、諸塚村、美郷町、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町（26市町村）					
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）					
1. 交付対象事業の進捗状況						
5年間で39地区を本計画に位置付けて事業を実施した。進捗率は99.9%であり、概ね計画どおりの事業進捗が図られた。						
対象事業 上段：計画 下段：実績	種別	地区数	内 訳			
	①対象事業	(39) 39	農地整備事業(13地区)、水利施設整備事業(8地区)、 農地防災事業(2地区)、農村整備事業(16地区)			
全体事業費	種 別	事業費（千円）		進捗率（%）	備 考	
		計画（i）	実績（ii）	(ii)÷(i)		
	対象事業	4,743,555	4,742,228	99.9		
2. 事業効果の発現状況						
事業名		事業効果の発現状況				
①農地整備事業		・農地の大区画化・汎用化により、農業生産の効率化や農業の高付加価値化が図られた。 ・農道の新設や改良等により、農業生産の効率化や農村地域の活性化等が図られた。 ・飼料生産基盤の整備等により、畜産経営規模の拡大や畜産主産地の形成等が図られた。				
②水利施設整備事業		・農業水利施設の補修・更新や畑地かんがい施設の整備等により、安定的な用水供給や排水条件の確保が図られた。				
③農地防災事業		・排水機場を整備することにより、後背農地等の湛水被害の防止が図られた。 ・被覆資材の更新により、降灰による被害の防止が図られた。				
④農村整備事業		・農村集落における排水処理施設の整備等により、農村生活環境の改善等が図られた。 ・農業生産基盤や農村生活環境基盤の整備等により、地域特性を活かした農業と活力ある農村づくりの促進が図られた。 ・家畜排せつ物処理施設整備により、環境汚染の防止及び家畜排せつ物の有機質資源としての有効活用が図られた。				
3. 成果目標の目標値の実現状況						
定量的指標		指標項目	目標値 （i）	実績値 （ii）	達成率 （ii）÷（i）	備 考
①農地整備事業						
・用排水路の整備により、安定的な用水供給と排水機能の確保することで、農地の生産性の向上を図る。		生産性向上面積(ha)	53.7	53.7	100.0%	達成
・農道の新設、改良により、通作条件の確保、改善及び維持を図る。		整備延長(m)	4,630.1	4,630.1	100.0%	達成
・草地等の整備により、畜産経営において必要となる飼料を確保する。		草地等整備面積(ha)	22.1	22.0	99.5%	概ね達成 事業継続中

②水利施設整備事業 ・水田のほ場整備及び付帯する用水路等農業用施設の整備により、農作業の効率化や担い手への農地利用の集積を図る。	ほ場整備面積(ha)	6.6	4.2	63.6%	未達成※
	担い手への農地利用集積増加率(ポイント)	139	130	93.5%	概ね達成 事業継続中
③農地防災事業 ・排水機場を整備することで、湛水被害を防止する。 ・被覆資材を更新することで、降灰による被害を防止する。	農地保全被害防止面積(ha)	33.3	33.3	100.0%	達成
	新燃岳・桜島降灰対策被害防止面積(ha)	1.0	1.0	100.0%	達成
④農村整備事業 集落排水処理施設を対象とした最適整備構想や実施計画を策定し、更新整備を行うことで、農村地域の生活環境の保全を行う。	最適整備構想の策定	2市 19処理区	2市 19処理区	100.0%	達成
	実施計画の策定	6市町村 28処理区	6市町村 28処理区	100.0%	達成
	更新整備	1市 3処理区	1市 3処理区	100.0%	達成
※未達成理由 追加の付帯工事が発生し、進捗に遅れが生じた。次期計画で事業継続中。					
4. 今後の方針					
本計画に基づく事業の実施により、担い手の育成、基幹水利施設の維持更新、農村の生活環境の改善など、本県農業農村の課題解決に向けた取組が進められた。本計画実施期間内で未完了の地区は、第4期整備計画において、引き続き事業を推進する。					